



東京都小児・AYA世代がん診療連携協議会小児がん診療連携部会緩和ケアWG 主催

小児緩和ケア研修会

テーマ

「AYA世代がん患者の看取りを見据えた 意思決定について考える」

小児・AYA世代がんの患者さんが在宅医療を希望する場合、がん治療病院や在宅診療医療機関など、多くの関係者が連携して、患者さんの思いに沿った医療を提供することが必要です。グループワークでの症例検討や講演を通じて、小児・AYA世代がん患者さんの在宅医療について一緒に考えてみませんか？

※AYA世代がん：思春期・若年成人に発症する「がん」のことで、主に15～39歳までに発症するがんを指します。小児期に発症して、現在、AYA世代になっている小児がん経験者も含んでいます。

【日 時】令和4年3月13日（日曜日）13時から16時まで

【開催方法】オンライン開催（事前申込必要・参加費無料）

【対 象】都内の小児・AYA世代がん診療に携わる
病院の医療従事者の方、在宅診療を行う医療従事者の方 など
（職種に限定はございません。）

【定 員】50名（先着順）

【申 込】QRコードからお申し込みください。

（申込期限）令和4年2月18日（金曜日）



【プログラム】（予定）

- ・グループワークによる症例検討（思春期患者の模擬症例で検討予定）
- ・講演①「AYA世代がん患者の意思決定について」
講師：東京都立小児総合医療センター血液腫瘍科医師 松井 基浩 先生
- ・講演②「AYA世代がん患者を支える側の意思決定支援について」
講師：静岡県立静岡がんセンター 緩和医療科 公認心理師・臨床心理士
榎場 美穂 先生
- ・意見交換

【問合せ】東京都立小児総合医療センター庶務課 Tel：042-300-5111（代表）

主催：東京都小児・AYA世代がん診療連携協議会

後援：一般社団法人AYAがんの医療と支援のあり方研究会